



耐雪梅花麗

「雪に耐えて梅花麗し（ゆきにたえてばいかうるわし）」、西郷隆盛が作った漢詩に出てくる言葉です。その意味は「梅の花は冬の厳しい雪や寒さに耐え忍ぶからこそ、初春に美しく花を咲かせ、かぐわしい香りを放つ。人生に例えると、人間は苦難や試練に耐え、それを乗り越えた時に大きく成長できる」と解釈されています。

5日（火）から6日（水）にかけて、県立高校の前期選抜試験が行われました。3年生にとっては、一つの大きな試練ではなかったかと思いますが、これまで培ってきた力を十分に発揮すれば、結果は自ずとついてきます。

いよいよ卒業式が来週に迫りました。旅立ちの春、希望の春です。3年生にとって中学校生活の3年間は楽しいこと、うれしいことばかりではなかったと思います。苦しいことや辛いことも今後の糧にして、大きく羽ばたくことを願っています。1・2年生は進級のための準備期間となります。先日、今年度最後の実力テストを実施しました。学習面での反省を次に生かし、復習に力を入れてほしいと思います。

樹

村野四郎

おまえが入学したときは
まるで かよい苗木のような
枝もなく そして葉もなかった
けれどもきょう おまえを見ると
大きなおどろきに胸をうたれる
おまえの幹は しっかりとし
さしかわす知恵の枝々
風にそよぐ やわらかい感情の茂り
おおこの美しい成長はだれがくれた
わたしは おまえといっしょに
このゆたかな恵みに
心から感謝しよう
おまえは まだまだ大きくなる
やがて 花をさかせるだろう
梢は空にひろがるだろう
そして 深々とした おまえの茂みは
数しれない小鳥たちの
ねぐらになるだろう
おお そのとき
大きな おまえの樹のかげに
どんなに美しい夢を
わたしは結ぶだろう

3年生のみなさんは、本当に立派に成長し、頼もしい存在です。感謝の気持ちをもって卒業式を迎えましょう。

3月は「別れの季節」・・・

3年生との別れの前に、これまでお世話になった教職員との別れがありました。

6日（水）にはSC（菅野先生）とのお別れ会、7日（木）には家庭科担当（原田先生）とのお別れ会を実施しました。生徒会役員が進行を務め、生徒会役員が分担してお別れの言葉を述べ、そして花束を贈呈しました。

お別れのあいさつの中でSCの菅野先生からは、「自分を理解することが大事、自己理解が他の人を理解することにつながり、共感する力が育つ」という話がありました。また、原田先生からは、最初の授業で自己紹介した際の生徒の印象や、御館中の生徒の素晴らしさについて話がありました。

両日とも最後に、離任される先生を囲んで記念写真を撮り、拍手で見送りました。菅野先生には10年間、原田先生には3年間、本校のためにご尽力いただきました。



菅野先生を囲んで



原田先生を囲んで